

展示会

子どもの本の夜明け 帝国図書館展

The Imperial Library and the Dawn of Japanese Children's Books

2024
3.26 火 - 6.23 日

【会場】国際子ども図書館
レンガ棟3階 本のミュージアム

【開館時間】9時30分～17時

【休館日】毎週月曜日、国民の祝日・休日(こどもの日は開館)
毎月第3水曜日(資料整理休館日)

入場
無料



展示会場
撮影OK!

※一部の展示資料は
撮影できません。



International Library of Children's Literature
国立国会図書館 国際子ども図書館

上から「こがね丸」(少年文学 英亮)巖谷小波著、大橋新太郎編 文博館 1891、「赤い鳥」4(6)1920年6月号
赤い鳥社、「アリスト語」(小学生全集28)菊池寛、芥川童之介訳、平沢文吉絵 興文社 1927、「君たちはどう
生きるか」(日本少国民文庫4)吉野源三郎著、脇田和絵 新潮社 1949



子どもの本の夜明け

帝国図書館展

The Imperial Library and the Dawn of Japanese Children's Books



展示会場
撮影OK!

*一部の展示資料は撮影できません。

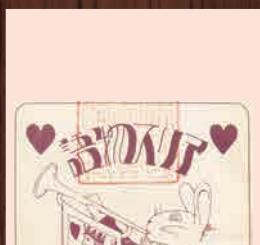
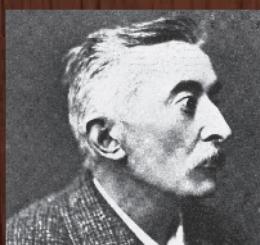
この展示会では、帝国図書館とその前身である東京図書館の時代に産声を上げた、子どもの本の歩みをたどります。

明治維新から20年を経た1880年代、子どもを対象とした雑誌が複数創刊されました。それを皮切りに、日本の子どもの本の興隆が見られました。大正期になると、芸術性の高い児童雑誌『赤い鳥』が創刊され、童心文学の土台となりました。しかし、戦前の昭和前期には、子どもの本は戦意高揚の道具として利用されました。

このよきな近代日本の子どもの本の歩みをたどりつつ、子どもの本の作者たちと帝国図書館とのヒストリについても紹介します。名立たる文学者たちの子どもの本への貢献、帝国図書館との関わりを読み取っていただけぬと感じます。

◆ 関連イベント

スタッフによるギャラクター^ク(展示解説)を予定しております。
詳細は国際子ども図書館ホームページ等で順次お知らせします。



(書影)右列から『アリス物語』(小学生全集28)菊池寛、芥川竜之介 訳、平沢文吉 絵 興文社 1927、『怪人二十面相』江戸川亂歩 著 大日本雄辯會講談社 1936、『君たちはどう生きるか』(日本少国民文庫4)吉野源三郎 著、脇田和 絵 新潮社 1949、『赤い鳥』複製版14(1) 1925年1月号 日本近代文学館 1968、『こがね丸』(少年文学 カタ)巖谷漣(小波)著、大橋新太郎 編 博文館 1891
(肖像)右列から 小泉八雲、芥川龍之介、宮沢賢治、夏目漱石、樋口一葉

(書影)右列から『アリス物語』(小学生全集28)菊池寛、芥川竜之介 訳、平沢文吉 絵 興文社 1927、『怪人二十面相』江戸川亂歩 著 大日本雄辯會講談社 1936、『君たちはどう生きるか』(日本少国民文庫4)吉野源三郎 著、脇田和 絵 新潮社 1949、『赤い鳥』複製版14(1) 1925年1月号 日本近代文学館 1968、『こがね丸』(少年文学 カタ)巖谷漣(小波)著、大橋新太郎 編 博文館 1891
(肖像)右列から 小泉八雲、芥川龍之介、宮沢賢治、夏目漱石、樋口一葉

International Library of Children's Literature
国立国会図書館 国際子ども図書館

〒110-0007 東京都台東区上野公園 12-49 TEL 03-3827-2053(代表) <https://www.kodomo.go.jp/>

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

